

2011 年 10 月 13 日

新たな精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム
「(第 2 R)：認知症と精神医療」の目標値設定に関する意見書

厚生労働省・新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム・第 2 ラウンド（認知症と精神医療）「とりまとめ（案）」の「認知症医療に関する目標値」の記載につきまして本検討チーム構成員、ならびに検討会にて発言を求められた有識者として、以下の意見をあらためて申し上げ、目標値についてのさらなる検討を求めます。

＜意見の趣旨＞

認知症に限らずすべての精神疾患の医療において、地域生活の中で治療を受けられる社会制度を十分に整え、入院による医療が最低限となることが望まれています。そうした状況の達成を評価する指標としては、①入院が減る【IN】、②入院しても短期で退院できる【OUT】、の 2 点のいずれもが重要となります。今回の認知症と精神医療に関する厚労省とりまとめにおける「目標値設定」は②のみを述べて、議論の過程で複数の構成員や有識者から表明された①の点が触れられておらず、不十分な目標設定と言わざるをえません。

現案の退院促進の目標値設定だけにとどまると、病床数をより増やし、短期で退院できる軽い認知症の方を多く入院させた方が目標値を達成しやすくなり、認知症による精神科入院をかえって促進する結果を招くことが危惧されます。

そのため、入院を最低限にするための目標値（認知症による入院を最小限にする地域支援・医療体制の拡充に関する具体的な目標値）についての協議・検討を引き続き丁寧に行い、退院促進の目標値とあわせて具体的に盛り込むことを求めます。

＜認知症を考慮した目標値の検討経緯の確認＞

この度の検討チーム第 2 ラウンドにおいて「認知症を考慮した目標値設定」が検討された経緯については、とりまとめの中でも明記されているように平成 21 年 9 月の「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会（座長：樋口輝彦）」報告書において以下の課題が明記されたことによります。（以下、あり方検討会報告書より抜粋）

- 「認知症については、現在行われている有病率等の調査を早急に進め、その結果等に基づき、精神病床や介護保険施設等の入院・入所機能のあり方とその必要量等や、介護保険施設等の生活の場の更なる確保と介護保険サービス機能の充実について検討を行い、適切な目標値を定めることとする。」
- 「認知症に関する目標値（例：入院患者数）：平成 23 年度までに具体化する。」

＜目標値についての検討の不足＞

以上の「厚労省あり方検討会」における方針・趣旨にそって今回の検討チーム第 2 ラウンドでは「認知症に関する目標値」の検討が行われるはずでした。

しかしながら、実際には、平成 23 年 9 月 5 日に行われた第 2 ラウンド検討チームにおいて朝田構成員から認知症の有病率調査の中間結果の報告があったのみで、その結果を踏まえての入所・入院施設等の必要量、地域生活支援の拡充についての分析・協議・検討などはほとんど行われないうまま、上記の退院促進のみの目標値設定が事務局から提案される結果となっております。

その後、平成 23 年 9 月 27 日に事務局提案のとりまとめについて各構成員に意見が求められましたが、入院を最低限にするための目標値（認知症による入院を最小限にする地域支援・医療体制の拡充に関する具体的な目標値）についての協議・検討を求める意見が、複数の構成員から出されたものの「これまでに議論していないことを盛り込めない」という事務局からの回答があり、退院促進のみの目標値設定のみが、とりまとめに含まれた形となっております。

＜有病率調査等の結果に基づいたサービスの必要量等に関する十分な分析とそれに基づく目標値の設定を再度求めます＞

以上の経緯を踏まえ、第 2 ラウンドとりまとめにおける目標値設定について、上記の元来の趣旨にそった協議・検討のプロセスを十分に確保し、有病率調査等の結果に基づいたサービスの必要量等に関する十分な分析とそれに基づく目標値の設定を行い、国民に対して透明性の高い形での目標値に関する合意形成を求めます。

よって、我々、検討チーム構成員、ならびに検討会に協力した有識者は、目標値設定についての現状のとりまとめを再度、十分に検討し直すことを求めます。

構成員 岡崎 祐士 （都立松沢病院 院長）
構成員 小川 忍 （社団法人 日本看護協会 常任理事）
構成員 柴田 範子 （特定非営利活動法人 楽 理事長）
構成員 田尾 有樹子 （社会福祉法人巣立ち会 理事）
構成員 高木 俊介 （たかぎクリニック 院長）
構成員 西田 淳志 （東京都医学総合研究所 主任研究員）
構成員 野村 忠良 （東京都精神障害者家族会連合会 会長）
構成員 福田 正人 （群馬大学大学院医学系研究科 准教授）
構成員 堀江 紀一 （特定非営利活動法人 世田谷さくら会 理事）
前構成員 松本 均 （22 年度検討チーム 構成員）
第 2R・第 8 回有識者 上野 秀樹 （海上療養所 副院長）
（五十音順）